

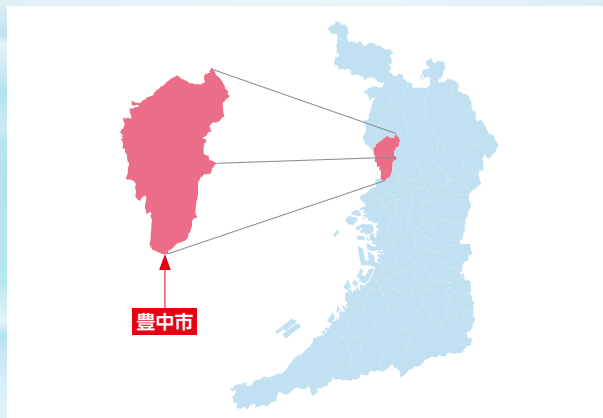
大阪国際空港周辺緑地の利活用

～飛行機に見える魅力的な都市公園～



原田緑地は大阪国際空港の緩衝緑地（騒音等の緩和を図ることを目的として造成される緑地）Ⅱ期事業の計画地で、現在は「緑と食品のリサイクルプラザ」や「緑化樹木見本園」、「記念樹の森」など、主に緑地保全及び緑化推進行政を図る施設が設置されています。

同地に隣接する千里川土手は、飛行機を真下から間近で鑑賞できる環境であることなどから、世界最大級の旅行プラットフォーム「トリップアドバイザー」において、最高のサービスを継続的に提供し、過去1年間にわたり高評価の口コミを継続的に獲得した施設に与えられる「エクセレンス認証」を受けました。こうしたことから、大阪国際空港に親しみを持つことや空港周辺地域の活性化等を目的に、原田緑地を飛行機に見える魅力的な都市公園として、千里川土手と一体的な整備を進めます。



■対象エリア

- ・場 所：原田中2丁目地内（大阪国際空港の南東）
- ・敷地面積：約6ha

■現在の整備状況

緑と食品のリサイクルプラザ

食品リサイクル法の理念や趣旨に基づき、学校給食の調理くずや給食の食べ残し等の生ごみに街路樹等の剪定枝を混ぜて堆肥「とよっぴー」（土壌改良材）を製造する施設。

体験農場

緑と食品のリサイクルプラザに併設する農園で、親子や児童等の野菜の植付・収穫等を行う農体験学習の場として活用。

緑化樹木見本園

自宅などに植える樹木の見本を展示している施設。

記念樹の森

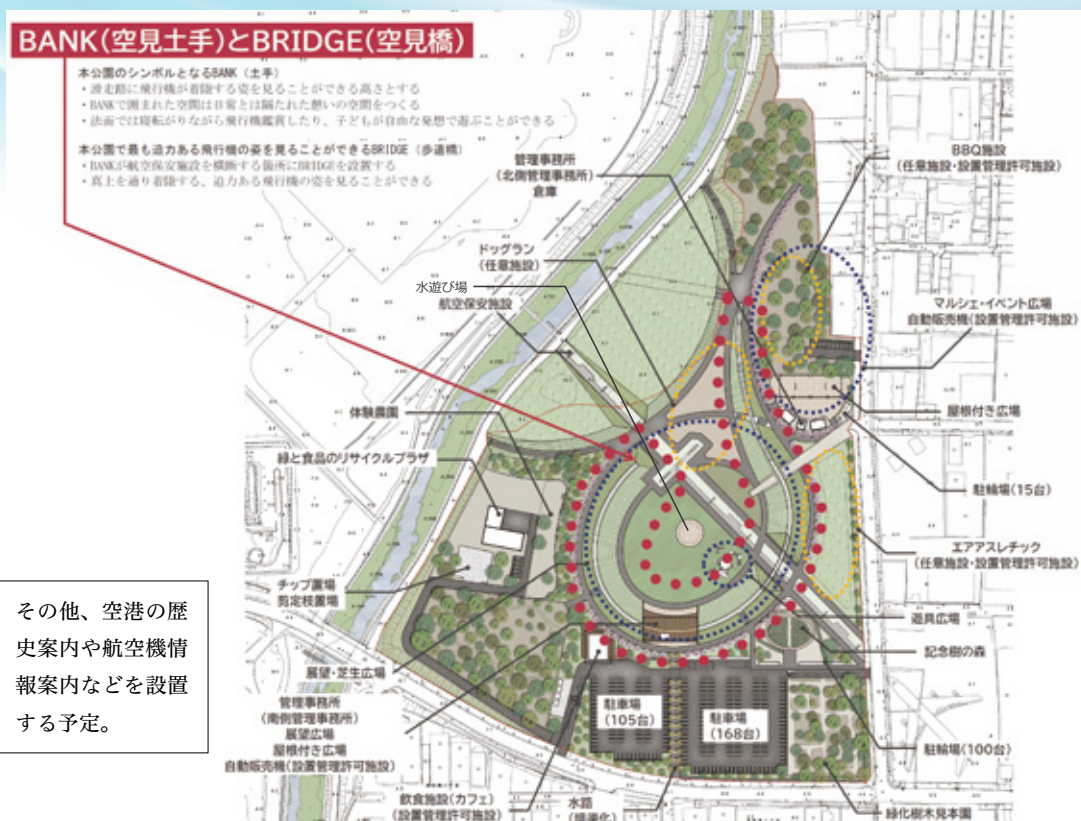
市民の出生や結婚、銀婚、金婚の記念として、市の木であるキンモクセイ等を植樹した施設。



■利活用イメージ図

【公園整備コンセプト】

BANKでつなぐ“原田の杜” HARADA 緑と風のエアガーデン (AirGarden)



※あくまで現時点でのイメージで、確定したものではありません。

①迫力ある飛行機の離着陸を 楽しめる場

- ・滑走路への飛行機の離着陸を鑑賞できる BANK と BRIDGE
- ・法面に寝転がりながら飛行機を鑑賞できる BANK に囲まれた非日常空間

②緩衝緑地の機能を備えた みどりにふれあえる場

- ・既存のみどりを生かした“つかう森”“見せる森”“まかせる森”の3つの森
- ・ゆったりとした癒しの時間を過ごすことができるカフェ

③人と人が交流する 賑わいの場

- ・マルシェなど様々なイベントが開催される屋根付き広場
- ・子どもが安心して遊ぶことができるあそび場
- ・市外からも集客する魅力的な施設やサービスの提供

■今後のスケジュール

令和6 (2024) 年度 : 設計完了・着工・愛称募集・クラウドファンディングの開始

令和7 (2025) 年度 : 一部開園

令和8 (2026) 年度 : 全面開園

■民間企業や市民に期待することなど

本事業は、HARADA 緑と風のエアガーデングループ (代表企業: 株式会社関西都市居住サービス) が進めます。民間事業者の皆さまには、雑誌等への掲載のほか、大阪国際空港と原田緑地をつなぐシャトルバスの運行など、原田緑地の認知度や利便性を向上させる役割を期待しています。

また、原田緑地を取り入れた旅行ツアーの開発のほか、原田緑地でのイベントの開催やマルシェ広場でのキッチンカーの出店など、原田緑地の賑わいを創出する役割を期待しています。